

青少年育成委員会 委員長 田中 基稔

急速な発展を続ける現代の情報化社会において、SNSの普及がその一助を担い、私たちの生活は利便性を増しています。一方で、コミュニケーション能力の構築や人格形成において最も重要な時期とされる幼少期の生活には、時として好ましくない影響を及ぼす側面があることも看過できません。この現状に目を背けず、私たち八女JCが子供たちへ向けて、対面による交流の場や助け合いと利他の精神を育む機会を創出することが必要です。

まずは、子供たちへ面識のない同世代の仲間と直接ふれ合う機会を提供することで、対面によるコミュニケーションの重要性と魅力を学んでいただきます。そして、近年注目を集めるダイバーシティ教育に倣い、事業を通じて相手を思いやることの意義について理解し、人それぞれの持つ個性を認識・尊重し合うことで相手の立場で物事を考え、様々な意見や思考だけでなく他者の失敗や誤りも受容できる豊かな心を育みます。さらに、子供たちが実際にチームワークの構築を経験することで、仲間とともに共通の目標を達成する上で自分がすべきことを各々が考える機会を見出し、利他の精神を醸成するための事業を構築します。また、八女JCの永続的な発展に加え、地域活性化と地元産業の存続という長年の課題解決の実現には組織の強化が不可欠であるため、より結束力のある組織を構築すべく、積極的な会員拡大に努めます。そして、12月総会では、これまでの八女JCの良き伝統の継承とさらなる繁栄のために尽力されてきた卒業生の功績を称えるとともに、現役メンバーが卒業生の意志を引き継ぐ貴重な機会となるよう、企画・運営を行います。

本年度のスローガンである「一心」のもと、私たち八女JCが家庭や学校、地域社会と心をつなげて子供たちの未来への礎を築いていくことで、これからは担っていく子供たちが八女地域への誇りと希望を胸に、互いに切磋琢磨しながら活躍できる社会を実現します。